



報道関係者各位

【FIFA ワールドカップ 2026 北中米大会に関するアンケート調査結果】

日本代表 活躍満足度 1 位：鈴木彩艶、知名度アップ 1 位：中村敬斗

森保監督 8 年間の採点平均は 72.9 点 23.4%が 100 点満点評価

印象に残った外国人選手 1 位：メッシ、2 位：ハーランド、3 位：エムバペ

産業能率大学スポーツマネジメント研究所（所長：中川直樹 情報マネジメント学部学部長）は、FIFA ワールドカップ 2026 北中米大会直後に、日本代表選手に関する認知度や活躍満足、森保監督の 8 年間の功績等に関する意識調査を、大会直前に実施した 1 万人アンケートの追跡調査として、全国の 1,000 人に対して実施しました。

1. 日本代表選手に関する調査

順位	活躍満足率（各選手の認知度分母）		知名度アップ			
	選手名	満足率	選手名	事前認知率	事後認知率	上昇 Pt
1 位	鈴木 彩艶	77.6%	中村 敬斗	16.08%	39.6%	23.52
2 位	佐野 海舟	59.2%	鈴木 彩艶	20.30%	43.8%	23.50
3 位	上田 綺世	58.1%	板倉 滉	17.9%	31.3%	13.4

2. 試合観戦に関する調査（[]はグループリーグ番号）

順位	リアルタイム観戦率		観戦満足率			
	試合	観戦率	試合	視聴数	満足数	満足率
1 位	【F】 チュニジア 0-4 日本	31.5%	【F】 チュニジア 0-4 日本	315	242	76.8%
2 位	【F】 オランダ 2-2 日本	30.8%	【F】 オランダ 2-2 日本	308	224	72.7%
3 位	【F】 日本 1-1 スウェーデン	29.4%	【決勝】 スペイン 1-0 アルゼンチン	181	122	67.4%

3. 森保一監督の8年間を 100 点満点で採点 平均点 72.9 点 中央値 80 点 最頻値 100 点

40 点未満	40 点台	50 点台	60 点台	70 点台	80 点台	90 点台	100 点
9.0%	1.4%	14.8%	5.8%	11.3%	20.1%	14.2%	23.4%

4. 日本代表以外で印象に残った人物 ※回答者に 1 人 5 人まで自由記述で挙げてもらった名寄せ後の集計結果

1 位	リオネル・メッシ (アルゼンチン代表)	182 票	2 位	アーリング・ハーランド (ノルウェー代表)	98 票	3 位	キリアン・エムバペ (フランス代表)	66 票
-----	------------------------	-------	-----	--------------------------	------	-----	-----------------------	------

5. 今大会の成否評価と主な理由

質問	回答	主な理由
FIFA ワールドカップ 2026 は 大会全体として成功だったと思う	はい 37.6%	・盛り上がり ・質の高い試合 ・エンタメ性 ・無事閉幕
	いいえ 62.4%	・過度な政治的介入 ・商業主義 ・不公平なジャッジ



1. 日本代表選手に関する調査

日本代表選手に関する調査では、全 26 選手に対し、最初に「知っている選手」を選んでもらい、「認知率」（知名度）を算出しました。大会前にも同様の調査を行っているため、両者の差分（事後認知度-事前認知度）によって「知名度アップ」を数値化しました。次に、知っている選手を対象に「活躍に満足している選手」を回答数制限なしで選んでもらい、各選手の「活躍満足度」を「認知度」で割った「活躍満足率」を算出しました。特に満足度の高かった選手については投票理由も記述してもらいました。

1-1. 知名度アップ TOP5

知名度アップ第 1 位は、オランダ戦で今大会の日本チーム初ゴールを決めた中村敬斗選手でした。特に女性層での知名度アップが顕著で、回答者を女性に限定すると 30.9 ポイントの上昇を記録しました（事前 9.0%→事後 39.9%）。2 位には次項の活躍満足率で 1 位を飾る鈴木彩艶選手が僅差で続けました。

4 位の塩貝健人選手、5 位の佐野海舟選手までの 4 人がワールドカップ初選出の選手であり、今大会によって一気に知名度を高めたといえます。塩貝選手はブラジルとの対戦前の発言が大きく報じられました。佐野選手は次項の活躍満足率で鈴木彩艶選手に続く 2 位につけています。

初出場ではない選手の中で唯一 TOP5 入りを果たしたのは、大会直前に遠藤航選手からキャプテンマークを引き継いだ板倉滉選手でした。本調査時点では有名女優との結婚報道もあり、第 3 位と躍進しました。

順位	選手名	初選出	ポジション	知名度アップ（女性内）	事前認知率	事後認知率
1	中村 敬斗	○	MF/FW	23.52 (30.9)	16.08%	39.6%
2	鈴木 彩艶	○	GK	23.50 (28.6)	20.30%	43.8%
3	板倉 滉		DF	13.4 (16.8)	17.9%	31.3%
4	塩貝 健人	○	MF/FW	12.1 (9.2)	6.5%	18.6%
5	佐野 海舟	○	MF/FW	12.0 (12.3)	15.2%	27.2%

1-2. 活躍満足率 TOP10

活躍満足率は、スーパーセーブを連発した守護神・鈴木彩艶選手が圧倒的な得票率で 1 位となりました。2 位は無尽蔵のスタミナとブラジル戦でのロングシュートによるゴールが強烈な印象を残した佐野海舟選手、3 位にはオランダリーグ得点王に相応しい活躍を見せた上田綺世選手が入りました。

4 位の中村敬斗選手から 7 位の伊東純也選手まで、鮮やかにゴールを決めたストライカーが続きました。その意味では、ディフェンダーで TOP10 入りを果たした富安健洋選手、谷口彰悟選手の両選手は、守備での貢献が視聴者の目に焼き付いた傑出した選手ということもできます。

順位	選手	ポジション	活躍満足率	投票理由（抜粋）
1	鈴木 彩艶	GK	77.6%	・日本が決勝トーナメントに進めたのは、彼が好セーブしたおかげ。 瞬発力が優れていて、安心できる。（埼玉県 50 代女性） ・彼でなければ失点していた可能性がある場面が何度もあった。 （福岡県 40 代男性）
2	佐野 海舟	MF/FW	59.2%	・攻守の存在感が高かった。フィールドプレイヤーの MVP だと思う。 （福岡県 40 代男性） ・スタミナがすごい。ブラジル戦のゴールが格好良かった。 （北海道 40 代女性）



順位	選手	ポジション	活躍満足率	投票理由（抜粋）
3	上田 綺世	MF/FW	58.1%	・ワントップとして役目を果たした。さすがオランダリーグ得点王！ （静岡県 60 代男性） ・シュート力、決定力がある。（東京都 40 代女性）
4	中村 敬斗	MF/FW	53.8%	・日本の最初の得点を取った。（静岡県 60 代男性） ・若いのに落ち着いて全体を見て的確な攻めをしているように思う。 （東京都 40 代女性）
5	前田 大然	MF/FW	51.2%	・ゴールへの嗅覚と体力が素晴らしかった。（静岡県 40 代女性） ・豊富な運動量で前線から守備をし貢献。 （神奈川県 50 代男性）
6	鎌田 大地	MF/FW	46.6%	・攻守において日本の中心だった。（神奈川県 50 代男性） ・フィールドの中で守りも攻めも参画した。（東京都 60 代男性）
7	伊東 純也	MF/FW	44.2%	・ボールを持つてからの速さが異常レベル（兵庫県 60 代女性） ・スピードと正確なクロスが良かった。（静岡県 40 代女性）
8	富安 健洋	DF	41.7%	・これからの日本代表に必要な守備の要（佐賀県 40 代男性） ・怪我からの復帰を考えれば十分なパフォーマンス （福岡県 40 代男性）
9	堂安 律	MF/FW	39.8%	・自分のゴールよりチームのために守備に徹する姿に感動した。 （茨城県 40 代女性） ・守備も攻撃もバランスよくやってくれた。（兵庫県 60 代女性）
10	谷口 彰悟	DF	37.3%	・冷静なラインコントロール（東京都 60 代男性） ・相手のチャンスをよく潰していた。（静岡県 40 代女性）

2. 試合観戦に関する調査

全 104 試合を対象に、リアルタイムで観戦した試合を、視聴時間の長さを問わずに尋ね、「リアルタイム観戦率」を求めました。続く質問では、リアルタイムで観戦した試合に対して、「観戦したことに満足している」試合を回答数制限なしで選んでもらい、各試合の「観戦満足数」を「リアルタイム観戦数」で割った「観戦満足率」を算出しました。

2-1. リアルタイム観戦率 BEST16

リアルタイム観戦率の上位には、日本戦の 4 試合が並び、今大会で唯一、視聴しやすい時間帯に地上波で放送されたチュニジア戦がトップでした。逆に、その他の 3 試合は早朝や深夜、平日の通勤・通学時間だったことを踏まえれば、30% 近い観戦率は驚異的ともいえます。今大会は FIFA ランキングの上位 4 チームがそのまま準決勝に進み、決勝戦も 1 位・2 位チームの激突となりました。日本戦以外の観戦率ランキングも順当に、決勝、3 位決定戦、準決勝の順となりました。

準々決勝のうち「フランス×モロッコ」「アルゼンチン×スイス」は地上波放送がなかったことが響きました。それらの準々決勝 2 試合を観戦率で上回ったのが、ラウンド 16 の「ブラジル×ノルウェー」と、ラウンド 32 の「アルゼンチン×カーボベルデ」の 2 試合でした。前者は日本を破ったブラジルの次戦かつ、今大会注目のハーランド選手擁するノルウェーとの対戦。後者はグループリーグにおいてスペインの攻撃を無失点で凌ぎ、一躍「台風の目」となったカーボベルデと前回優勝国アルゼンチンとの好カードが、比較的視聴しやすい土曜朝の時間帯に放送されたことで観戦率が高まったと考えられます。



順位	ステージ	初選出	地上波 放送	リアルタイム 観戦率	試合開始 (日本時間)
1	グループF	チュニジア 0-4 日本	○	31.5%	6 月 21 日 (日) 13:00
2	グループF	オランダ 2-2 日本	○	30.8%	6 月 15 日 (月) 05:00
3	グループF	日本 1-1 スウェーデン	○	29.4%	6 月 26 日 (金) 08:00
4	ラウンド 32	ブラジル 2-1 日本	○	27.7%	6 月 30 日 (火) 02:00
5	決勝	スペイン 1-0 アルゼンチン	○	18.1%	7 月 20 日 (月/祝) 04:00
6	3 位決定戦	フランス 4-6 イングランド	○	12.8%	7 月 19 日 (日) 06:00
7	準決勝	イングランド 1-2 アルゼンチン	○	10.2%	7 月 16 日 (木) 04:00
8	準決勝	フランス 0-2 スペイン	○	9.7%	7 月 15 日 (水) 04:00
9	準々決勝	ノルウェー 1-2 イングランド	○	6.4%	7 月 12 日 (日) 06:00
10	準々決勝	スペイン 2-1 ベルギー	○	5.2%	7 月 11 日 (土) 04:00
11	ラウンド 16	ブラジル 1-2 ノルウェー	○	4.9%	7 月 6 日 (月) 05:00
12	ラウンド 32	アルゼンチン 3-2 カーボベルデ	○	4.0%	7 月 4 日 (土) 07:00
13	準々決勝	フランス 2-0 モロッコ		3.7%	7 月 10 日 (金) 05:00
14	ラウンド 16	ポルトガル 0-1 スペイン	○	3.6%	7 月 7 日 (火) 04:00
15	準々決勝	アルゼンチン 3-1 スイス		3.4%	7 月 12 日 (日) 10:00
16	ラウンド 32	フランス 3-0 スウェーデン	○	3.3%	7 月 1 日 (水) 06:00

2-2. 観戦満足率 50%以上

観戦満足率は、リアルタイム観戦率 2.5%以上の試合を対象に算出しました。観戦者の半数以上が満足した試合が以下の 15 試合です。日本が大勝したチュニジア戦が 1 位、優勝候補オランダに 2 度追いついた初戦が 2 位でした。グループリーグで引き分けたスウェーデン戦よりも、敗戦した決勝トーナメント 1 回戦のブラジル戦の方が高い満足率でした。

そのブラジル戦を上回る観戦満足率を示したのが、決勝と準決勝の計 3 試合でした。なお、リアルタイム観戦率の順位よりも観戦満足率の順位の方が明らかに低かった試合は 14 位の「ノルウェー×イングランド」です。ノルウェーの敗戦により、今大会でのハーランド選手の見納めにもなったことがその要因と考えられます。

順位	ステージ	初選出	観戦満足率	観戦満足数	リアルタイム観戦数
1	グループF	チュニジア 0-4 日本	76.8%	242	315
2	グループF	オランダ 2-2 日本	72.7%	224	308
3	決勝	スペイン 1-0 アルゼンチン	67.4%	122	181
4	準決勝	イングランド 1-2 アルゼンチン	61.8%	63	102
5	準決勝	フランス 0-2 スペイン	60.8%	59	97
6	ラウンド 32	ブラジル 2-1 日本	60.6%	168	277
7	準々決勝	スペイン 2-1 ベルギー	59.6%	31	52
8	ラウンド 16	ブラジル 1-2 ノルウェー	59.2%	29	49



順位	ステージ	初選出	観戦満足率	観戦満足数	リアルタイム観戦数
9	3 位決定戦	フランス 4-6 イングランド	58.6%	75	128
10	ラウンド 32	アルゼンチン 3-2 カーボベルデ	57.5%	23	40
11	グループ F	日本 1-1 スウェーデン	56.1%	165	294
12	ラウンド 16	ポルトガル 0-1 スペイン	55.6%	20	36
13	準々決勝	フランス 2-0 モロッコ	54.1%	20	37
14	準々決勝	ノルウェー 1-2 イングランド	53.1%	34	64
15	準々決勝	アルゼンチン 3-1 スイス	52.9%	18	34

3. 森保一監督の8年間で 100 点満点で採点

2027 年 1 月のアジアカップをもつての森保一監督は退任することが発表されました。2018 年 7 月から日本代表を率い、2022 年のカタール大会、今回の北中米大会と 2 度のワールドカップを指揮した森保監督の 8 年間の功績を 100 点満点で評価（0 から 100 までの整数入力）し、その理由を記述してもらいました。

標準偏差は 27.2 点と広く分散はしましたが、平均値は 72.9 点と高く、中央値は 80 点でした。最頻値は 100 点で、23.4%に当たる 234 人もの人々が回答しました。今大会で十分な結果を残せなかったことへの不満はあるものの、大多数の人がその功績を高く評価していることが窺える結果となりました。

成績	回答率	累積回答率	採点理由（抜粋）【】は点数
100 点	23.4%	23.4%	【100】日本サッカーのレベルアップに貢献したと思うから。強豪国にも引けを取らない試合をたくさん見せてもらったから。（埼玉県 30 代男性） 【100】国家斉唱で涙ぐむ姿や他の国へのスポーツマンシップのあるコメントなど、人柄もすごく素敵だった。（東京都 20 代女性） 【100】今までにない研究熱心で真摯な監督だった。（青森県 50 代女性）
90 点台	14.2%	37.6%	【95】代表のみならずファンにも一体感を与えた凄さ（沖縄県 20 代男性） 【90】育成、采配は良い。結果が付いてくれば 100 点（神奈川県 40 代男性）
80 点台	20.1%	57.7%	【80】世界のトップクラスの国とも戦えるチームへ導いたが、勝つ試合の進め方ができていなかった（神奈川県 50 代男性） 【80】選手を信じるチカラがあった（東京都 40 代女性）
70 点台	11.3%	69.0%	【75】ブラジル戦の消極的な采配がマイナス 25 点（東京都 60 代男性） 【70】戦術のバリエーションが物足りないがその他は満足（長野県 40 代男性）
60 点台	5.8%	74.8%	【60】プロセスは素晴らしかったが、結果はもの足りなかった（福岡県 60 代男性）
50 点台	14.8%	89.6%	【50】ベスト 32 までしか行けなかった（神奈川県 40 代男性） 【50】もう少し上に行けると思ったから。（東京都 40 代男性）
40 点台	1.4%	91.0%	【40】優勝を口にしながら、ベスト 32 止まりだったので。（東京都 60 代男性）
40 点未満	9.0%	100.0%	【35】掲げていた目標と結果の乖離があまりに大きい（滋賀県 50 代男性） 【20】結果がすべて（神奈川県 50 代男性）



4. 日本代表以外で印象に残った人物 TOP10

今大会を通して、日本代表選手以外で印象に残った人物に関しても調査しました。最大 5 人まで、理由を含めて回答してもらいました。サッカー関係者に限定して集計したところ、前回大会の MVP で本大会も決勝まで注目を集め続けたアルゼンチン代表のメッシ選手が 2 割近い得票で突出しました。上述のノルウェー代表・ハーランド選手が 98 票でメッシ選手に続きました。3 位は 10 ゴールで今大会の得点王に輝いたフランス代表のエムバペ選手でした。

4 位には 19 歳の若さで優勝国スペインの中心選手として活躍したヤマル選手、5 位には対照的に 40 歳にして神がかったセーブを連発し、上述のカーボベルデの快進撃を演出したゴールキーパーのヴォジーニャ選手の名前が挙がりました。6 位にはイングランド代表として、準々決勝ノルウェー戦での逆転ゴールや、対フランス戦での 3 位を決定づけるゴールなど計 7 ゴールを挙げたジュード・ベリンガム選手、7 位にはポルトガル代表 41 歳のレジェンド、クリスティアーノ・ロナウド選手、8 位にはイングランドのキャプテン、ハリー・ケイン選手が続きました。10 位は今大会 MVP に輝いたスペイン代表のロドリ選手でした。

TOP10 のうち、海外のスター選手が 9 つを占める中、それ以外で唯一名前が挙がったのが日本代表戦の解説を務めた元日本代表の本田圭佑さんでした。

順位	選手	所属チーム	票数	投票理由（抜粋）
1	リオネル・メッシ	アルゼンチン	182 票	・ゴール、アシストと年齢を感じさせない高精度の技術を見せてもらった。（東京都 60 代男性） ・メッシにボールが渡ったときの場の空気の変わり方（大阪府 30 代女性）
2	アーリング・ハーランド	ノルウェー	98 票	・ゴール前での圧倒的なパワー（大分県 60 代男性） ・ホントにすごい。ブラジル戦の得点は特にすごい。（北海道 40 代男性）
3	キリアン・エムバペ	フランス	66 票	・得点王（大阪府 30 代女性） ・圧倒的なスピードと決定力（神奈川県 50 代男性）
4	ラミン・ヤマル	スペイン	40 票	・19 歳なのに凄いテクニック（静岡県 60 代男性） ・赤ちゃんのころにメッシにお風呂に入れてもらった画像を見たから（北海道 40 代女性）
5	ヴォジーニャ	カーボベルデ	14 票	・初出場のカーボベルデを引っ張って大躍進させた 40 歳（東京都 40 代女性） ・素晴らしいセーブを連発（静岡県 40 代女性）
6	ジュード・ベリンガム	イングランド	13 票	・試合の流れを変えた（茨城県 20 代男性）
7	クリスティアーノ・ロナウド	ポルトガル	10 票	・年齢を感じさせない姿勢（熊本県 50 代女性）
8	ハリー・ケイン	イングランド	6 票	・点も取るがフォーザチーム（福岡県 40 代男性）
9	本田圭佑	（解説者）	5 票	・ほとんど知らなかったが、意外と面白い人だなと思った。（東京都 40 代女性）
10	ロドリ	スペイン	4 票	・スペインのまとめ役（北海道 60 代男性） ・パスのもらい方とアングルが上手い（神奈川県 20 代男性）



5. 今大会の成否評価と主な理由

「FIFA ワールドカップ 2026 は大会全体として成功だったと思うか」について尋ねたところ、「はい」（成功）が 37.6%、「いいえ」（成功とはいえない）が 62.4%となり、否定派の方が多い結果となりました。なお、肯定派の理由として「日本代表の活躍」（57 件）、否定派の理由として「日本代表の敗退」（63 件）も挙げられていましたが、質問内容は「大会全体」に関してのため、下の表では割愛しています。

5-1. 大会成功肯定派(N=376)の主な理由

肯定派の理由としては、大会の「盛り上がり」を挙げる人が最も多く、「質の高い試合」「大きなトラブルなく閉幕できたこと」などが続きました。「様々な国の活躍」や「エンターテインメント性」を挙げる人も多く見られました。

理由	件数	具体的記述（抜粋）
盛り上がり	130 件	・サッカーで世界中が盛り上がった。（佐賀県 50 代女性） ・盛り上がっていたし、見にいきたいと思った（福岡県 50 代男性） ・大会を見ていない自分からしても盛り上がっていたと感じた。（東京都 20 代男性）
質の高い試合	56 件	・拮抗した見ごたえのある試合が多かった（兵庫県 50 代女性） ・名勝負が多くて最高だった（広島県 40 代男性） ・スーパーゴールをたくさん見られた（熊本県 40 代男性）
無事閉幕	27 件	・サッカー人気が高くないアメリカで集客、放送が失敗しなかった。（千葉県 40 代男性） ・安全に最後まで開催できてたと思う（宮崎県 20 代女性）
様々な国の活躍	24 件	・カーボベルデなど知らない国が活躍して、面白かった。（熊本県 50 代女性） ・今まで知らなかった未知の国も出場して未来を感じさせた（東京都 60 代男性）
エンターテインメント性	19 件	・エンタメ性も加わり、さらにワクワクできる大会になった（沖縄県 20 代男性） ・どこも観客が多かった（静岡県 60 代男性） ・ハーフタイムショーに BTS を採用した（福岡県 50 代女性）

5-2. 大会成功否定派(N=624)の主な理由

否定派の理由として最も多く挙げたのが「過度な政治的介入」でした。また「不公平なジャッジや運営」に関する批判的意見も見られました。「エンターテインメント性」を含む「商業主義」と「出場国の増加」は、肯定派の理由としても挙げられていたものであり、同じ事象であっても価値観の違いによって評価が 180 度変わる結果となりました。

理由	件数	具体的記述（抜粋）
過度な政治的介入	118 件	・スポーツに政治介入があったから（山梨県 60 代女性） ・政治的なパフォーマンスがあつて残念だった（千葉県 40 代男性） ・政治的意向によって歪められた大会だった（愛知県 20 代男性）
商業主義	42 件	・チケットが高すぎる（埼玉県 50 代女性） ・折角の決勝戦がハーフタイムショーで萎えた（埼玉県 30 代男性） ・商業目的が強すぎて選手ファーストではなかったと思う（静岡県 30 代女性）
不公平なジャッジや運営	30 件	・レフェリーや組み合わせなどレギュレーションに課題が残った（神奈川県 30 代男性） ・審判の公平性に疑問を持った（東京都 50 代女性）
出場国の増加	16 件	・参加チームが増えて大会全体が間延びしてしまった（青森県 60 代男性） ・グループリーグのレベルが下がったように感じた（鹿児島県 50 代男性）



【調査概要】

調査方法：インターネットリサーチ

調査期間：2026 年 7 月 22 日～24 日の 3 日間

調査対象：事前調査対象者内の 1,000 人に追跡調査（地域・性年代構成比は総務省最新推計に準拠）

※事前調査は 5 月 29 日～6 月 2 日に、日本在住の 20 歳～69 歳の男女 10,000 人に対して実施

調査監修：小野田哲弥（産業能率大学スポーツマネジメント研究所研究員／情報マネジメント学部教授）

調査協力：青木健誠・源馬優来・佐伯拓真（小野田ゼミ）

【回答者属性】（N=1,000）

	男性	女性	各年代計
20 代	88	82	170
30 代	89	86	175
40 代	109	105	214
50 代	123	120	243
60 代	97	101	198
合計	521	479	1,000

地方	N	都道府県
1. 北海道	39	北海道
2. 東北	64	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
3. 関東	366	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
4. 甲信越・北陸	61	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県
5. 東海	117	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
6. 近畿	162	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
7. 中国	56	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
8. 四国	26	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
9. 九州・沖縄	109	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
合計	1,000	

【産業能率大学】

■ホームページ：<https://www.sanno.ac.jp/>

◆本件に関するご取材・お問い合わせ◆

産業能率大学広報事務局（共同ピーアール内）

Email : sanno-u-pr@kyodo-pr.co.jp

TEL:田ヶ谷（080-1088-7338） 秋山（080-1032-8649）